

第 13 期 pES club step4 大会医学生シナリオ

平成 26 年 7 月 6 日

東京北医療センター 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは、名羅手部総合病院内科の 1 年目後期研修医です。

替利太威さん（78 歳男性）は、発熱と咳嗽と食欲不振のため、娘に連れられて当院救急外来を受診しました。精査の結果、胸部単純 X 線と胸部単純 CT で左下葉の肺炎があり、A-DROP は 2 点（年齢，脱水），敗血症はなく，vital sign も安定していました。喀痰のグラム染色を行ったところ polymicrobial pattern で，誤嚥による嚥下性肺炎の可能性が高いと判断しました。食事が摂れそうにないこと，また高齢であることから，入院適応と判断しました。

替利さんは，妻と 2 人で都営住宅の 2 階に暮らしています。5 年前に発症した脳梗塞で左上下肢の片麻痺と構音障害がわずかに残存していますが，ADL は屋内伝え歩き，屋外杖歩行です。IADL はなんとか自力で可能です。介護保険は要介護 2 を取得済みで，週 3 回デイケアに通っています。妻は 74 歳で糖尿病を患っており，介護力としては期待できません。替利さんを連れてきた娘は同じ区内に住んでいますが，日中仕事があるため，やはり介護力としては期待できません。

本人は自宅に帰りたがっているようですが，ご本人と娘さんに，入院の必要性和入院診療の計画を説明して下さい（10 分間）。